

## 事業セグメントの変更

当社は、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)の適用に伴い、事業セグメント(連結ベース)を2010年度より、従来の製品等の類似性に基づく区分から、マネジメント・アプローチ\*に基づく区分に変更しました。変更内容は以下のとおりです。

まず、従来の鉄鋼関連事業から「溶接事業部門」(新たに独立開示)を除き、電力卸供給事業を加えたものを、新たに「鉄鋼事業部門」として開示してまいります。

次に、従来の機械関連事業は、主にハード系を中心とした「機械事業部門」と、製鉄プラントや原子力プラント等を中心とした「資源・エンジニアリング事業部門」と、「神鋼環境ソリューション」の3つのセグメントに分かれます。

また、従来の建設機械関連事業は「コベルコ建機」と「コベルコクレーン」の2つに分け、従来の不動産関連事業と電子材料・その他の事業は、「その他」として纏めて開示することとなります。

なお、これまでは各セグメント別に営業損益を開示してまいりましたが、2010年度以降は、社内の管理に合わせて経常損益で開示することとなります。

\*マネジメント・アプローチ：社内で業績管理や意思決定を行っている区分で、業績開示を行う手法のこと。

2009年度まで		2010年度から	
製品等の類似性に基づく事業セグメント (7セグメント)		マネジメント・アプローチに基づく事業セグメント (9セグメント)	
1 鉄鋼関連事業	鉄 鋼	▶ 1 鉄鋼事業部門	▶ 2 溶接事業部門
	溶 接		
2 電力卸供給事業		▶ 3 アルミ・銅事業部門	
3 アルミ・銅関連事業		▶ 4 機械事業部門	
4 機械関連事業		▶ 5 資源・エンジニアリング事業部門	
5 建設機械関連事業	コベルコ建機	▶ 6 神鋼環境ソリューション	
	コベルコクレーン	▶ 7 コベルコ建機	
6 不動産関連事業		▶ 8 コベルコクレーン	
7 電子材料・その他の事業		▶ 9 その他	